

第9回飯山市環境審議会次第 顛末

日時 平成24年1月19日(木)午前10時
場所 飯山市役所4階 第1委員会室
出席委員 14名(欠席なし)

1 開 会

2 審 議

(1) 第2次飯山市環境基本計画(案)意見公募の結果について

・市民から提出のあった意見、対応について

(別紙「公募意見に対する考え方、対応」参照)

(2) 環境審議会員からの提言

①第1章 環境基本計画の基本的な考え方

(委員) 2ページの背景について、1回読んだだけでは読みにくいと思うので、もう少し易しい文章にした方が良いと思う。

(事務局) そのように修正する。

②第2章 環境の現状

(委員) 計画書はカラー印刷となるのか。

(事務局) 表紙や巻頭はカラーページとなるが、本文は白黒印刷とする予定。

(委員) 地形の中で川、湖沼、平など固有名詞が出てくるので、マップ化することはできないか。

(事務局) 可能な限り対応する。

(委員) 生物に関しては外来種はリストが掲載されているので、希少種だけでもリストを掲載した方が良いと思う。オオルリシジミなどとても貴重な種もいる。

(事務局) 対応したい。リストについては専門分野になるので、委員の協力もお願いしたい。

(委員) 河川リスト、生物リストなど「資料編」にまとめてしまえばすっきりするのでは。

(事務局) データを集めた段階で検討したい。

(委員) 公募意見に「教科書的」とあったが、せめて各項目の横に特徴をタイトルとして併記してはどうかと思う。例えば「1-1気象」なら「日本有数の豪雪地帯」など。

(事務局) 検討したい。

(委員) 関連して、全体的に説明文章が長く読みにくい。もう少し短くしてもいいと思う。

(委員) 19ページの「地球温暖化防止」の説明では、なぜ地球温暖化を防止しなければならないのか、ということが入っておらず、難しい説明ばかりになっていて読みにくい。氷河が減っているなど、そういったデータなどが入っていると読みやすいと思う。

(事務局) 委員からいただいたデータを参考にしながら、現在書き直している。取り組みが必要な理由も入れるようにしたい。

③第3章 市民意識と取り組みの現状

(委員) 23 ページの騒音について、騒音測定を実施したデータを出したほうが良い。

(事務局) 掲載するようにする。

(委員) アンケート結果について、グラフの羅列になっているので、傾向などを太字にするなどしてポイントを分かりやすく記載した方がよいと思う。

(事務局) 記載するようにする。

④第4章 望ましい環境像実現に向けて

(委員) 57 ページの課題のキーワードについて、2章・3章に記載されていないものが入っている。例えば都市環境、犬の糞の始末、地球環境に対する対策、森林里山のうちの保全など。一方、豪雪、ナラ枯れ、希少種の保護などが記載されていない。2章・3章と整合をとらないといけない。

また58ページの望ましい環境像はいいことは書かれているが、前計画と変わりなく、また他市と同じようなものになっている。一つだけでも10年後に目玉となるような施策につながるビジョンを挙げたほうが良いと思う。10年後に本当にこうあってほしいと思える環境像を掲げたらどうかと思う。きっちり予算がついて、政策に落とし込むことができ、10年後に実現できるビジョンを1つほしいと思う。タイムリーな話題として「自然エネルギーの推進・開発」を大きく掲げてはどうかと思う。県でも1村1エネルギーを掲げており、取り組みやすいと思うし、これにむけて市民がどう行動し取り組めばよいかというのは分かりやすいと思う。また市町村として前面に打ち出しているところは少ないと思うので、注目を浴びるのではないかとも思う。

(委員) 私も委員の意見に賛成。

(小林け) 前計画は環境の維持管理というニュアンスが強いと思うが、これからは新幹線も開業し市の政策的なものを盛り込むことができればよいと思う。そういう意味でも望ましい環境像を見直してもよいのでは、と思う。

(事務局) 市の方向としては、自然と景観の分野、自然エネルギーの部分は新たな方向となってくると思うが、現行の案では自然と景観の分野は入っているが、自然エネルギーは少ない。

(委員) 市民がこれを読んで何をすればいいというのが分かりにくい。「自然エネルギー」と書いてあれば、太陽光に取り組もうといった意識も持つと思うし、計画に掲げられていることで国の補助等もうけやすいのではないか。

(委員) 私も大震災・原発事故があったこの機会にこの審議会が行われていることを考えれば、そういったことを盛り込んだ方がよいと思う。それを具体的にしていくために、飯山自身も節電・省エネという方向を示して進んでいくことが大事だと思う。

(事務局) 第4章は望ましい環境像から基本目標、個別目標と連動しているのので、例えば望ましい環境像の4番目を見直して基本目標4の表現も合わせて見直すという方法が考えられる。

(委員) 私が考えるのは望ましい環境像は「目標」であり、自然エネルギーの活用は「手段」であると思う。目標にしてしまうと一過性で終わってしまうので、目標達成の手段として自然エネルギーを活用するのがよいと思う。今日本全体が自然エネルギーを「目標」にしてしまっていて、どういう社会をつくりたいのか、という考えになっていない。飯山にも雪、キノコのおがくずなど自然エネルギーとして活用する可能性があるものがあると思うので、そういった研究などを進めていくことが大切だと思う。

(事務局) 自然エネルギーの活用を4章に入れる方向はよいと思うが、基本目標などどのような位置づけにしていったらいいか、意見を伺いたい。

(委員) 数値目標を掲げるのは難しいと思うが、基本目標・個別目標それぞれを見直し、自然エネルギーに配慮した項目となっているかを検証することは必要だと思う。

(委員) 一般的な方法として現状を検証し課題を明らかにして、課題の克服のために何をして、その結果あるべき姿にたどり着く、という順序を追った構成にしていかないと、見る人は分かりにくいと思う。

(委員) 計画は10年間のスパンで考えることになると思う。原発の関係も来年度中にはほとんどの原発が検査停止されるのではないかと、という話も出てきている。そうした中で、例えば「太陽光発電」といった言葉が掲げられていること自体、現状とそぐわない部分が出てくる恐れがある。そうした詳細な計画は年次計画で行うとして、この計画は大まかな目標を掲げておいたほうがよいのでは。

(事務局) この場では結論でないので、委員と個別に相談して原案を再検討したい。

⑤第5章 環境施策推進のための仕組みと体制づくり

意見なし

(3) 第10回審議会及び市長への答申について

・日程

2月9日(木) または2月16日(木)

(事務局) 市長への答申日程について決めたい。当日は一度お集まりいただいて答申案の確認をして、市長へ答申し、市長を交えて懇談を行いたい。

今日の審議で計画案の見直しがあった点については事務局で修正を行い、一度委員さんに修正ごの計画案をお送りして確認をしていただきたい。その後、答申前にもう一度審議会を持った方がよいか。

(会長) 事務局で修正を行ったうえで、もう一度審議会をもつか考えてみては。

(事務局) 答申日は2月16日とさせていただいてもよいか。

(委員) 了承。

(事務局) 答申は2月16日とする。修正案への意見については、会長と事務局で相談し、委員各位に連絡をする。もしもう一度審議会を開くとすれば、9日の10時から行うこととしたい。

・答申内容

(事務局) 基本的には計画(案)をもって答申とするが、付記事項などとともに市長へ答申するかは修正の結果などを踏まえ、会長と事務局で協議し委員に案を示させていただく。

(4) 今後のスケジュール(2月9日に答申の場合) 2月16日の答申となった。

- | | |
|----------------------|----------------|
| ・修正後計画案の委員への送付 | 1月27日(金) ごろ |
| ・修正後計画案に対する事務局への意見連絡 | 2月1日(水) まで |
| ・計画案の最終調整 | 2月3日(金) ~8日(水) |
| ・第10回審議会及び市長への答申 | 2月9日(木) |
| ・答申を受けた市の検討 | 2月中旬~下旬 |
| ・計画の策定、市議会への報告 | 2月下旬 |

(5) その他

(事務局) 資料9-2で計画書の表紙や、計画書内で飯山市の環境側面図として入れるイラストのラフ画を配った。ご意見あれば後日でいいので、事務局へ連絡いただきたい。

3 閉 会